

# 不登校児への12段階 登校支援システム

濱野宏亮 小田島早苗 奥村弓恵 眞継真輔 太田耕平

医療法人耕仁会札幌太田病院  
ストレスケア病棟

2011.2.20.

北海道児童青年精神保健学会

北海道大学学術交流会館

# 1. はじめに

1982年の文部省調査は「学校ぎらい」で年間50日以上欠席した中学生が初めて2万人を超えた。当時は中学生千人当たり3.6人の割合であり4年間で倍増した。

当院でも、その当時から不登校、シンナー、非行、家庭内暴力などの治療を試みてきた。内観療法・家族療法によって開示される課題を解決し、院内学級での教育、病院からの登校支援など、短期間で通学に導く登校支援システムを改善しつつ、継続してきた。

# 思春期症

(不登校・いじめ・引きこもりなど・ネット依存)

## 12段階治療・看護・生活指導

遊び療法(家族も) <ミニダーツ・小弓道・箱庭・Y G・エゴ> 楽しいインタビューを。遊戯療法を参考。

治療法・親子関係の調整・学校の理解獲得など  
説明 通院(デイケア)か入院処遇を。

入院・生活療法:重症例の親は病院内の同(別)室にて内観。親は自宅にて日記内観。

児童は、早寝、早起き、朝の運動、洗顔、歯磨き、親、先生への電話、手紙療法。

# 思春期症

(不登校・いじめ・引きこもりなど・ネット依存)

## 12段階治療・看護・生活指導

日常内観 集中内観 生育史の外傷体験の  
発見と癒し 外傷体験の重層化を解決。

運動・OTで気力・体力を回復。

学力試験 院内学級(ピア・サポート)

各種プログラムに参加し感想文。

親 = 子、同時内観(互に反省・誉め・詫び・目標共有)

信頼関係の成立 親の反省

# 思春期症

(不登校・いじめ・引きこもりなど・ネット依存)

## 12段階治療・看護・生活指導

親が自主性回復 同伴登校の意志 学校で校長・担任・全教師に対し挨拶と通学決意。

親・学校への登校準備、ピア・サポートの具体的説明と依頼：親と学校は慎重姿勢。

親又は、登校支援療法士が同伴登校(1～2食携帯)  
：校長・教頭・担任・養護・ピア・サポート。

# 思春期症

(不登校・いじめ・引きこもりなど・ネット依存)

## 12段階治療・看護・生活指導

病院から通学開始し1～2週間、児・親・学校の揺れ(不安)・体験・成長支援。

通学(気力・体力・授業・交友・教師 = 家族関係をみつつ)実績 仮退院 自宅から。

外来(土曜、休暇中はデイケア)で経過・院内学級指導 = 入院中の後輩をピア・サポート

# 病院からの登校方法

初日、30分早く学校に着くよう登校。

食事は1～2食携帯できるように栄養課と調整。

**登校支援療法士(当院で認定している)同伴登校。**

学校長・教頭・担任・生徒指導・養護教諭に両親、  
本人が挨拶

保健室 ゆとりの教室 一般教室。

教室に入る時間は一時間から開始する

(状況を見て時間単位で増やす、午前・午後、柔軟に対応)

本人が希望したら、部活にも参加可能。担任の先生、家族と登下校の様子を情報交換。

# 病院からの登校方法

病院から1～2週間登校できることを目標

- \* 通学・帰院後、レポート記入(学校生活内容、登校の様子、周囲との関係、内観三問での記載)
- \* 病棟でインターネット検索・土日～パークゴルフ・体育館運動・課外活動(昆虫採集・音楽コンサート・雪祭り見学・ドライブなど)を体験。
- \* 担任の先生との情報交換(レポートをFAX・電話報告)
- \* 家からの登校(仮退院)を検討。

# 不良グループから脅されていた 中学生への援助(症例)

症例：13歳男児。不登校。

家族背景：両親の離婚で母と弟との3人暮らし。

主訴：非行グループに暴力、万引き手伝いの命令を受け、不登校となる。

働きかけ：学校に不登校児の治療方針を説明。

校門から教室までの、送り迎えを依頼。

(非行グループが玄関で待ち伏せるため)

地域の警察に、非行グループへの指導。学校周辺の巡回(パトロール・パトカー巡回の強化)

# 不良グループから脅されていた 中学生への援助(症例)

## 登校支援チーム の同伴登校：

医師、看護師、事務職員(登校支援療法士)と  
車内で対話 家族、兄弟、友人についての振  
り返し 貴重な体験ができるように設定。担  
任に直接、児童を引き渡す。

## 母親・教師との情報交換・連携

## ピアサポート 学校に依頼

安心感・信頼感・自己肯定感 同伴登校 単独  
登校

# 症例に対する登校支援システムの効果

## 児童－登校支援チーム

1対1の安定した関わり  
(自己認知・自己開示・  
自己受容・自己開放)へ

信頼関係形成  
症状緩和・軽減  
母子・父子関係の修正

## 入院生活

遊戯療法(小弓道・ダーツなど)  
内観療法(家族内観)

グループ活動  
対人交流の促進

仲間意識を高める効果  
他者との距離感を学ぶ  
感情表現・自己表現の学習  
共感的体験・満足感・達成感  
生活リズムの改善  
枠組み・ルールの認識の発達

# まとめ01

## <不登校問題の背景>

病棟内 内観療法  
(問題の明確化・解決)

### 親自身の問題

アルコール  
薬物  
ギャンブル  
うつ  
暴力  
自殺  
自傷  
・・・など

### 学校での問題

いじめ  
怠学  
学業不振  
非行  
・・・など

親・家族  
|  
不登校児

ひきこもり  
ネット依存  
発達障害  
・・・など

### 地域での問題

# まとめ02 < 登校支援システムの発展 >

